

INTRODUCTION

ヨハネによる福音書入門

福音書の強調点

1. マタイによる福音書：
2. マルコによる福音書：
3. ルカによる福音書：
4. ヨハネによる福音書：

●

1. 著者について

- 使徒ヨハネ
 -
 -

●

●

(ヨハネによる福音書 13:23¹、19:26²、20:2³、21:7⁴、20⁵)

1. 内的証拠 (Internal Evidence)

i. 著者は：

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

2. 外的証拠 (External Evidence)

i.

1. Irenaeus
2. Clement of Alexandria
3. Tertullian
4. Polycarp

¹ 弟子たちのひとりで、イエスの愛しておられた者が、み胸に近く席についていた。**ヨハネによる福音書 13:23**

² イエスは、その母と愛弟子とがそばに立っているのをごらんになって、母にいわれた、「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」 **ヨハネによる福音書 19:26**

³ そこで走って、シモン・ペテロとイエスが愛しておられた、もうひとりの弟子のところへ行って、彼らに言った、「だれかが、主を墓から取り去りました。どこへ置いたのか、わかりません」。**ヨハネによる福音書 20:2**

⁴ イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「あれは主だ」と言った。シモン・ペテロは主であると聞いて、裸になっていたため、上着をまといて海にとびこんだ。**ヨハネによる福音書 21:7**

⁵ ペテロはふり返ると、イエスの愛しておられた弟子がついて来るのを見た。この弟子は、あの夕食のときイエスの胸近くに寄りかかって、「主よ、あなたを裏切る者は、だれなのですか」と尋ねた人である。**ヨハネによる福音書 21:20**

2. 執筆年代と執筆地

1. 執筆年代：
2. 執筆地：

ヨハネによる福音書から私たちは、

- 1)
- 2)
- 3)

3. ヨハネの福音書の目的

- 1.

(ヨハネによる福音書 20:31)

→

2. ヨハネによる福音書の主要な目的：
3. そのために、ヨハネによる福音書は、
 - i.
 - ii.
 - iii.
 - iv.

4. 歴史的背景

- 1.
2.
 - i. (Gnosticism)
 - ii. (Docetism、仮現説)
 - iii. 異端は
 - 1.
 - 2.
 - 3.

5. ヨハネによる福音書の主要なテーマ

- 1.
- 2.

ヨハネによる福音書 1:14

- i.
- ii.

iii. 受肉は、人類の外から人間を救おうとせず、贖いを成し遂げるために神様ご自身が人間の歴史の中に入ってこられたこのを意味する⁶。

3. 信仰と永遠の命

- i. 「信じる」
 - 1. 動詞： 節に 回
 - 2. 形容詞 (πιστός) : 回 (ヨハネによる福音書 20:27⁷)
 - 3. 名詞 (πίστις) : 回
- ii. ヨハネによる福音書で信仰は、

(ヨハネによる福音書 3:16⁸、ヨハネによる福音書 5:24⁹、ヨハネによる福音書 6:47¹⁰、ヨハネによる福音書 11:25-26¹¹)

iii. ヨハネによる福音書は一貫して、

4. キリストの栄光

- i. 栄光：
- ii. ヨハネによる福音書でのイエス様の栄光：

5. 愛

- i.
- ii. (ヨハネによる福音書 13-17章)：
弟子であることの証しとして、クリスチャンの愛が強調されている。

6. 七つのしるし

- 1. : ヨハネによる福音書 2章
- 2. : ヨハネによる福音書 4章
- 3. : ヨハネによる福音書 5章
- 4. : ヨハネによる福音書 6章

⁶ Millard J. Erickson, Christian Theology, chapter on the Incarnation.

⁷ εἶπα λέγει τῷ Θωμᾶ, Φέρε τὸν δάκτυλόν σου ὧδε καὶ ἴδε τὰς χεῖράς μου καὶ φέρε τὴν χεῖρά σου καὶ βάλε εἰς τὴν πλευράν μου, καὶ μὴ γίνου ἄπιστος ἀλλὰ πιστός. (Jn. 20:27 UBS4)

それからトマスに言われた、「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手をのばしてわたしのわきにさし入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」。ヨハネによる福音書 20:27

⁸ 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。ヨハネによる福音書 3:16

⁹ よくよくあなたがたに言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。ヨハネによる福音書

¹⁰ よくよくあなたがたに言うておく。信じる者には永遠の命がある。ヨハネによる福音書 6:47

¹¹ ²⁵ イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。²⁶ また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。ヨハネによる福音書 11:25-26

- 5. : ヨハネによる福音書 6章
- 6. : ヨハネによる福音書 9章
- 7. : ヨハネによる福音書 11章

- 神学的な啓示として機能している¹²。

7. 七つの「わたしは～である (I Am)」という宣言

- 1. (ヨハネによる福音書 6:35¹³)
- 2. (ヨハネによる福音書 8:12¹⁴)
- 3. (ヨハネによる福音書 10:9¹⁵)
- 4. (ヨハネによる福音書 10:11¹⁶)
- 5. (ヨハネによる福音書 11:25¹⁷)
- 6. (ヨハネによる福音書 14:6¹⁸)
- 7. (ヨハネによる福音書 15:1¹⁹)

- 出エジプト記 3:14²⁰

8. 救済論

- 1. (生まれ変わる、Regeneration)
- i. ヨハネによる福音書 3:3
- 2. (Eternal Life)
- 3. (Union with Jesus)
- 4. (Grace)
- i. 救いは

9. 組織神学との関係²¹

- 1. キリスト論
- 2. 神論
- 3. 救済論

¹² Carson, PNTC, discussion of signs in John.

¹³ イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。ヨハネによる福音書 6:35

¹⁴ イエスは、また人々に語ってこう言われた、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」。ヨハネによる福音書 8:12

¹⁵ わたしは門である。わたしをとおってはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。

ヨハネによる福音書 10:9

¹⁶ わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。ヨハネによる福音書 10:11

¹⁷ イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。ヨハネによる福音書 11:25

¹⁸ イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。ヨハネによる福音書 14:6

¹⁹ わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。ヨハネによる福音書 15:1

²⁰ 神はモーセに言われた、「わたしは、有って有る者」。また言われた、「イスラエルの人々にこう言いなさい、『「わたしは有る」というかたが、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と」。出エジプト記 3:14

²¹ Erickson, Christian Theology, chapters on Christology and Salvation.

4. 聖霊論
5. 聖徒の堅忍

10. ヨハネによる福音書の独自の特徴

1. 独特な内容
 - i.
 - ii. (ヨハネによる福音書 3章)
 - iii. (ヨハネによる福音書 6章)
 - iv. (ヨハネによる福音書 10章)
 - v. (ヨハネによる福音書 13-17章)
2. (Symbolism、シンボリズム)
3. 選択的な記述
 - i. 他の共観福音書に比べると、
 - ii. ヨハネの関心は、

結論

ヨハネによる福音書は、この福音書を読む人をイエス・キリストへの信仰へと導くために綿密に構成された、目撃証言である。